

第28回 国民文化祭・やまなし2013



甲州市

— 歴史と文化、果樹園のまち —  
K O S H U C I T Y

# 民俗芸能の祭典

民俗芸能の伝統とこころ

つなげよう甲州の地から全国へ

平成二十五年一月二十日

会場 甲州市民文化会館



## あいさつ



第28回国民文化祭  
山梨県実行委員会会長  
山梨県知事

### 横内 正明

第28回国民文化祭・やまなし2013（愛称：富士の国やまなし国文祭）に、ようこそお越しいただきました。皆様のご来県を心から歓迎申し上げます。

富士の国やまなし国文祭は、「文化の風とあそぶ～みつめる・こえる・つなげる」をテーマに、四季を通じて山梨県の魅力を満喫していただくため、全国で初めて通年で開催いたします。

開催期間が長期にわたるため、会期を四つの季節のステージに分け、それぞれの初めに季節を象徴する事業を展開します。例えば、冬のステージのオープニングウィークには音楽・演劇を交えた創作総合舞台の披露や道祖神をテーマとしたフォーラムを、春には信玄公祭り甲州軍団出陣に合わせた華やかな国文祭記念パレードを、夏には世界文化遺産登録が期待される富士山麓で歌と踊りのサマーカーニバルを、フィナーレを飾る秋には山梨県出身の小林一三氏がちょうど100年前に創設した宝塚歌劇団が総合プロデューサーとして構成・演出を行うミュージカルを披露します。

また、会期を通じて誰でも気軽に参加できる「やまなしフットパス」、「やまなし造形遊び」、「まちなかステージ」、「やまなし食のカレンダー」の四つの通期事業を県下各地で随時実施していきます。

さらには、芸術文化イベントをはじめ、地域の伝統行事や自然を生かした特色あるイベントなど、79に及ぶ市町村主催事業が11箇月にわたって県下の全市町村を舞台に繰り広げられます。

富士の国やまなし国文祭では、303日間の会期を通じて山梨県の特徴ある文化を全国に向けて発信するとともに、県を挙げて「山梨ならではのおもてなし」を提供し、皆様に2度、3度とご来県いただけるよう努めて参ります。

全国からご参加の皆様には、日ごろの研鑽の成果を十分に発揮され、多くの方々とのふれ合いや交流の輪を広げるとともに、文化を「みつめる・こえる・つなげる」契機としていただければ幸いです。

結びに、山梨県での国民文化祭の開催に当たり、多大なご尽力とご支援をいただきました関係者の皆様に心から感謝申し上げます、あいさつといたします。



第28回国民文化祭  
甲州市実行委員会会長  
甲州市長

### 田辺 篤

本日ここに、第28回国民文化祭・やまなし2013「民俗芸能の祭典」がこのような盛大に開催できますことを感謝申し上げますとともに、全国から参加される皆様を心から歓迎いたします。

国民文化祭は、全国で様々な文化活動を実践している方々が一堂に会し、披露・交流する「国内最大の文化の祭典」です。今年山梨県で開催される国民文化祭は「文化の風とあそぶ～みつめる・こえる・つなげる」をテーマに、「山梨らしさ」を多くの方々に満喫していただき、一年を通じて山梨の四つの季節を味わっていただくため通年で開催いたします。

甲州市ではこの「国民文化祭・やまなし2013」のまさに始まりの祭典として、1月12日・14日に地域に長く伝わる「道祖神まつり」からスタートし、2月から11月にかけては、四季を通じて甲州市の魅力を満喫していただく「フットパス・朝市とワイナリーめぐり」を、3月にはその味が世界的にも認められた甲州種ワインとチーズの組み合わせを紹介する「甲州ワインフェスタ」を、10月には武田信玄ゆかりの寺社等が所有する国宝を中心とした文化財をめぐる「信玄公ゆかりの文化財めぐり」を開催します。

本日20日は全国各地の民俗芸能が競演する「民俗芸能の祭典」を開催します。「民俗芸能の祭典」には、市内より1団体、県外から7団体の皆様が出演され民俗芸能をご披露いただきます。この祭典は、先人たちの暮らしの中から生まれ、その地域で伝承されてきた文化遺産である民俗芸能の伝承者が、その技を広く紹介していくことにより、その地域の歴史文化を理解し地域間の交流を深め、民俗芸能を保存、伝承していく祭典であります。

甲州市では、この国民文化祭を契機に、地域に根ざしたすばらしい伝統文化の魅力を再発見し、より一層文化の発展や芸術の振興に努めてまいります。

結びに、ご出演される皆様の日ごろの成果を十分に発揮され、実り多い国民文化祭となることを期待いたしますとともに、開催に当たり多大なご尽力、ご支援を賜りました関係者の皆様に心から感謝を申し上げ、ごあいさつといたします。

## 次第

10:00～ 開演

開会ごあいさつ  
演舞：巫女の舞

～休憩～

演奏：風林火山塩山太鼓

10:20～ 公演(午前の部)

10:20～ 八戸えんぶり(青森県)  
10:50～ 宇治田楽(京都府)  
11:20～ 三社祭礼囃子(静岡県)  
11:40～ 太地の鯨踊り(和歌山県)

12:15～ 公演(午後の部)

12:15～ 本剣舞と三人怒物(岩手県)  
12:40～ 先庭(岩手県)  
13:00～ 恵比寿大神の舞(栃木県)  
13:30～ 一之瀬高橋の春駒(甲州市)

舞台の進行状況により、多少時間が前後する場合があります。



## 巫女の舞

～武田家一族の慰霊と伝承～

戦国大名として活躍した武田家最後の当主武田勝頼公は、長篠の戦いで織田信長に追われ、甲斐国の天目山(甲州市大和町)を目指すも、天正10年(1582年)3月、甲州市大和町田野の地で自刃し、壮絶な最期を遂げました。

『巫女の舞』は武田勝頼公一族や家臣、侍女らの霊を慰め、その遺徳を後世に伝えるため、昭和53年『武田勝頼公まつり』で大和中学校の女子生徒が奉納しました。また、信玄公の命日に当たる4月12日に恵林寺で開催される『信玄公忌』では松里中学校女子生徒が舞を奉納し、県下最大規模を誇る『信玄公祭り』の出陣式の冒頭では、両校の女子生徒による舞を披露しています。

『巫女の舞』は、武田家の歴史を伝えるための学習資源として、また甲州市の歴史・文化の貴重な資料として大切に受け継がれています。



青森県

国指定重要無形民俗文化財

## 八戸えんぶり

はちのへえんぶり

約800年前より、青森県南部から岩手県北部の農村に伝えられてきたとされている、豊作祈願の祭りです。馬の頭を象った烏帽子をかぶった太夫の勇壮な摺りと、摺の間に行われる祝福芸の松の舞、大黒舞、えびす舞などの演目構成になっています。

はちのへちほうえんぶりれんごうきょうぎかい  
八戸地方えんぶり連合協議会から一言

毎年、2月17日から20日に八戸市内で行われる行事を始め、県内外の観光PRイベント等へ出演しています。

八戸の殿様「南部氏」は、甲斐国（山梨県）出身です。殿様も見た「えんぶり」を是非八戸に来て見てください。



京都府

## 宇治田楽

うじでんがく

振り鈴、ピンザサラ、腰鼓を打ち鳴らし隊形を変えシンメトリックに躍る「田楽躍」。土壌に潜む悪霊を四方固めで踏み沈めます。豊作の喜びを表現する「惣躍り」。手に「兎杖」という初穂を付けた神の憑代を持ち、宇治ゆかりの兎に擬え跳ね躍ります。一昨年獅子舞を創りました。

うじでんがくまつりじっごういんかい  
宇治田楽まつり実行委員会から一言

平成10年より当実行委員会は『源氏物語』をテーマにまちづくりを展開する宇治市と連携し、宇治から失われた芸能「田楽」の復活をテーマに、伝統的要素を取り入れた新たな感覚で創造に取り組み、宇治によみがえった田楽の歴史を刻む熱意を胸に活動しています。



静岡県

静岡県指定無形民俗文化財

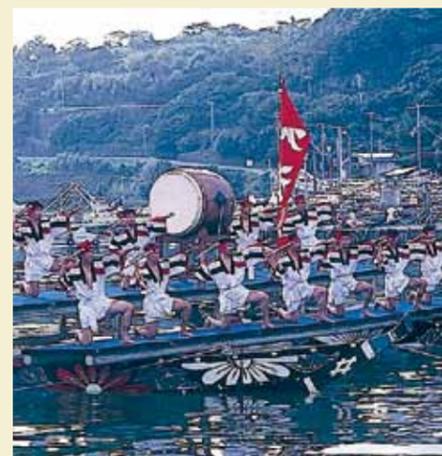
## 三社祭礼囃子

さんじゃさいわいばやし

三社祭礼囃子は、遠州横須賀第十四代城主・西尾隠岐守忠尚公が参勤交代の折、当時江戸で風靡していた江戸囃子を当地横須賀に伝えたもので曲目は、大間・屋台下・馬鹿囃子の道中囃子と、神前及び各町会所前で奉納される昇殿・鎌倉・四丁目の儀礼太鼓の計6曲をもって構成されています。

さんじゃさいわいばやしほぞんかい  
三社祭礼囃子保存会から一言

私達の遠州横須賀に脈々と伝承継承されている三社祭礼囃子をもって、東日本大震災に遭われた皆様方に元気を、また、全国の民俗芸能の伝承及び保存活動をされている方々との情報交換ができれば幸いです。



和歌山県

和歌山県指定無形民俗文化財

## 太地の鯨踊り

たいじのくじらおどり

鯨踊り（鯨踊り）は、鯨組が獲物のクジラを港に持ち帰ったときに舟の上で踊ったのが始まりと言われています。二艘の舟の上に渡した板の上に正座し、綾棒を持って踊りますが、綾棒を舐に見立てるなど、捕鯨の所作が随所に織り込まれているのが特徴です。

たいじちようみんけいほぞんかい くじらおどりほぞんぶかい  
太地町民芸保存会 鯨踊り保存部会から一言

捕鯨発祥の地、和歌山県太地町で踊り伝えられている踊りで、昭和45年に和歌山県の無形民俗文化財に指定されています。全国規模でのイベントは久しぶりなので、会員一同気合が入っています。他の地域の方々との交流も楽しみにしています。



岩手県

国指定重要無形民俗文化財

## 本剣舞と三人怒物

ほんけんばいとさんにんいかもの

兄頼朝と藤原泰衡の裏切りにより平泉で最期を遂げた源義経主従の亡霊が現れ悩ませていた。困り果てた泰衡が亡霊退散を願い祈祷させたところ釈迦の化身である一匹の狼が現れ、亡霊達に交じり念仏を唱えながら踊ると亡霊達も成仏した、という由来に基づく踊りです。

ほおのきざわねんぶつけんばいほぞんかい  
朴ノ木沢念仏剣舞保存会から一言

寛政8年（1796）伝承始まりから約210年、装束・舞い方を崩すことなく現在まで引継いできた念仏剣舞。2011.3.11の東日本大震災からは被害に遭った人々のお見舞い、復興への祈りを込めて各地で演舞を行っています。大地を靄い清め、鎮魂と祈りを込めて勇壮に演舞したいと思っています。



岩手県

岩手県指定無形民俗文化財

## 先庭

せんにあ

鹿踊は礼に始まり礼に終わるのが建前とされ、礼舞が主となっております。礼舞は先庭と後庭があり、先庭の見所は中立の所作で、ササラとササラの間に角を入れる角入れと、千鳥足で交互に足の裏を見せる綴の舞など、最も難しく熟練を要するとされています。

みなしろぎょうざんりゅうみかじりしおどり  
皆白行山流三ヶ尻鹿踊から一言

今回は大舞台に招いていただき、ありがとうございます。これまでブラジル、沖縄、京都、奈良等、各地で公演してきましたが、山梨の地を踏むのは初めてで、会員一同張り切っております。迫力ある踊りをお見せしますので、ご期待ください。



栃木県

佐野市指定無形民俗文化財

## 恵比寿大神の舞

えびすおおみかみのまい

小栗神社神楽では清司と12座の舞で、その一つが恵比寿大神の舞です。日本の福の神で有名な恵比寿が火吹男と鯛を釣るのが一般的ですが、当神楽は赤子(本物の赤ちゃん)を釣上げ元気に育つ様にと無病息災・健康祈願をするユーモラスで心温まる他では観られない舞です。

ならぶちこまつじんじやかぐらぼぞんかい  
奈良瀧小栗神社神楽保存会から一言

当小栗神社の春・秋の例祭や鷲宮神社(子供の神様)例祭その他のイベントでも赤ちゃんの祈願をして演じますが、ほとんどの方がこの舞では驚かれます。この舞を含めて伝統を継承したく神楽師一丸となり稽古に努め励んでいます。皆さまには是非とも観て頂きたい「民俗芸能の祭典」に参加いたしました。



山梨県

山梨県指定無形民俗文化財

## 一之瀬高橋の春駒

いちのせたかはしのはるこま

甲州市の北部に位置する一之瀬高橋地区に伝わる小正月の行事で笛・太鼓・鉦によるお囃子と歌に合わせた駒踊りで構成されます。道祖神場や各戸を巡り踊られたり、結婚や子供の誕生、新築があった家には「水祝儀」や「弁慶」という特別なお祝いが仕立てられます。

いちのせたかはしのはるこまぼぞんかい  
一之瀬高橋春駒保存会から一言

国民文化祭「民俗芸能の祭典」が地元甲州市で開催されること、そして、一之瀬高橋の春駒がそのステージに立つことが出来ることを心から嬉しく思います。日頃の伝承活動の成果を多くの皆様にご覧いただければ幸いです。

### 会場を盛り上げる伝統の響き



## 風林火山塩山太鼓

風林火山塩山太鼓保存会は、太鼓を通じた青少年の健全育成と、仲間づくりを目的とし、昭和59年、市内の青年有志により結成しました。この風林火山塩山太鼓保存会の名前は、武田の軍旗「孫子の旗」が由来です。武田信玄公のように、地域に根ざして、伝統芸能を守るため、団員一同がんばっております。

### 古来から伝承されてきた甲州市の道祖神まつり



田野十二神楽  
(山梨県指定無形民俗文化財)



藤木道祖神祭太鼓乗り  
(甲州市指定無形民俗文化財)

## 第28回 国民文化祭・やまなし2013

# 甲州市 K O S H U C I T Y



文化の風とあそび〜みつめる・こえる・つなげる〜  
第28回 国民文化祭・やまなし2013

### これからの甲州市主催事業

## フットパス・朝市とワイナリーめぐり

四季折々の産物と風景を思う存分味わおう

日時:平成25年2月~11月の毎月第1日曜日

会場:(株)シャトレゼベルフォーレワイナリー勝沼ワイナリー広場など

かつぬま朝市を起点として、地元のガイドと共に、ワインの歴史コース・甲州街道勝沼宿コース・ぶどうの里の寺町コースなど数々のコースをめぐるフットパスを実施します。



かつぬま朝市



甲州種ワイン

## 甲州ワインフェスタ

気軽な組み合わせを家庭に

日時:平成25年3月2日(土) 13:30~16:15

会場:甲州市勝沼ぶどうの丘イベントホール

日本食との相性がよく、近年品質向上が著しい甲州種ワイン。チーズとの組み合わせが加われば幅が広がり、家庭で日常的にも楽しむことができます。当イベントにおいて甲州種ワインとナチュラルチーズの組み合わせを紹介し、ワインの新たな楽しみ方を提唱します。

1. チーズプロフェッショナルによる講演会を開催します。
2. 甲州種ワインとチーズの試飲・試食を交えながら、ソムリエとチーズプロフェッショナルによる対談形式のセミナーを開催します。

## 信玄公ゆかりの文化財めぐり

歴史と文化に彩られた街の原点を公開

日時:平成25年10月25日(金)~27日(日)

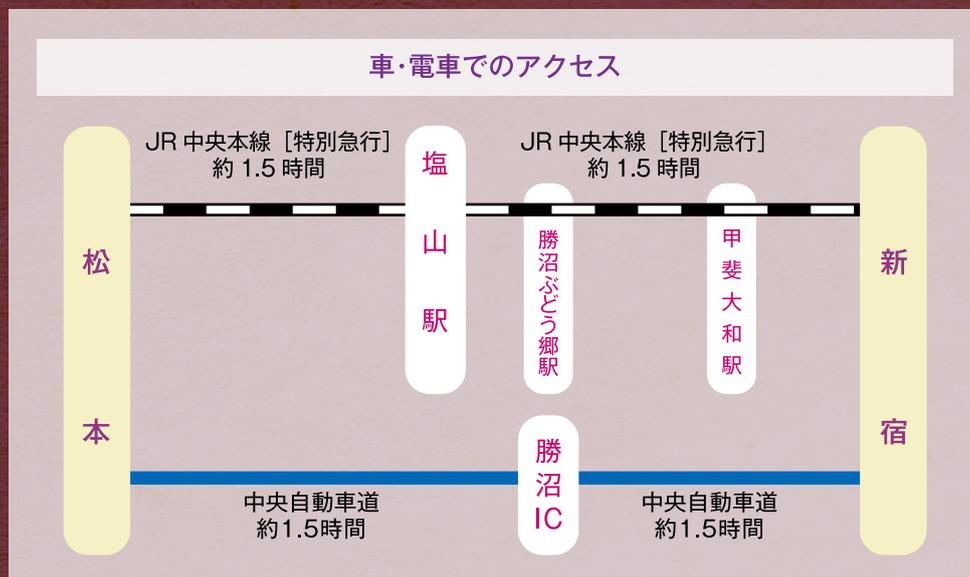
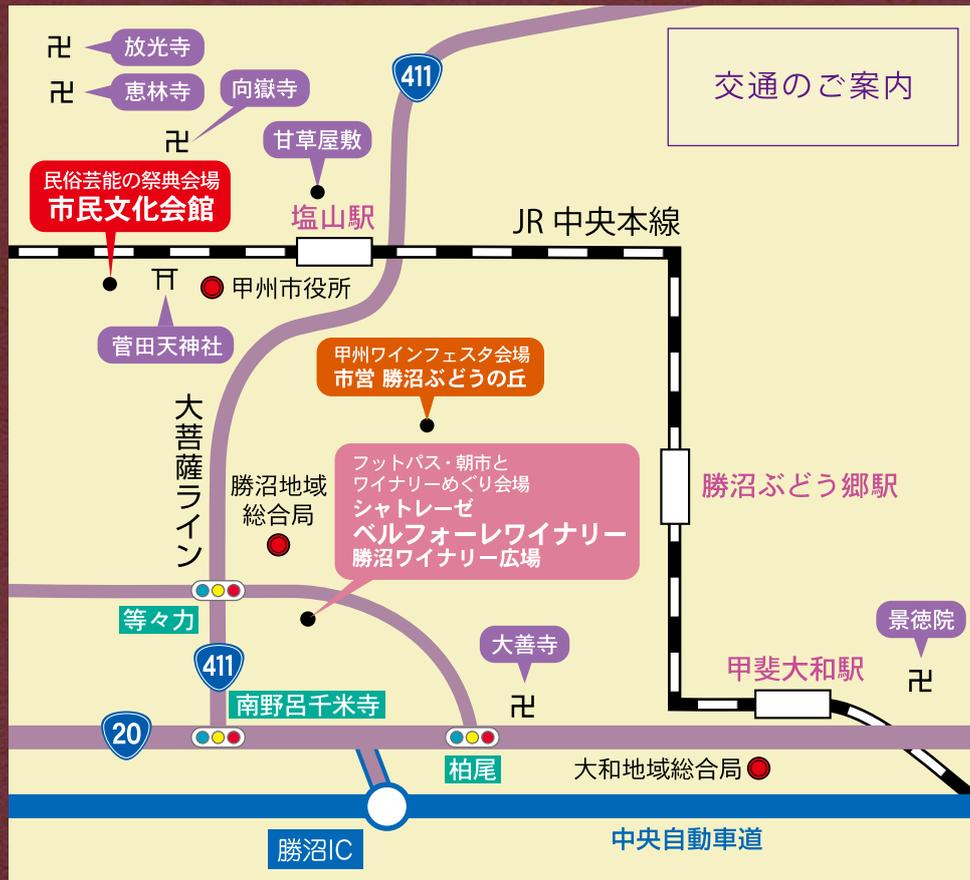
会場:甲州市内の神社仏閣 など

武田信玄公ゆかりの寺社等が所有する国宝を中心とした文化財をめぐります。甲州市には、国宝3件、国指定文化財26件、県並びに市指定文化財を合わせると実に265件の文化財が所在しています。ことに庭園では、国指定名勝2件、県指定名勝3件とほとんどが甲州市に所在しています。この豊かな歴史文化遺産をめぐり、歴史が刻まれた国宝や重要文化財が持つ本物の迫力や魅力を実際に体感してください。



小椋韋威鎧 兜、大袖付:国宝

各イベントの詳細情報はホームページをご覧ください。 [甲州市 国文祭 検索 http://kaiji-net.jp/kokubunsai/](http://kaiji-net.jp/kokubunsai/)



お問い合わせ

## 第28回国民文化祭 甲州市実行委員会

(事務局: 甲州市教育委員会生涯学習課内)

〒404-8501 山梨県甲州市塩山上於曾1085番地1(本庁舎)

TEL 0553-32-5097 FAX 0553-32-5172